

## 2001年災害事件事例

### 1. はじめに

2001年も様々な災害、事故がおこった。日本の気象災害を概観すると一昨年(2000年)の東海地方を中心とした豪雨災害のような前線の活発化による記録的な大雨といったことはなかったため、比較的災害の少ない年であった。しかし、8月下旬の台風11号(死傷者38人、住宅被害約700棟)9月上旬の台風15号(死傷者56人、住宅被害約1000棟)の2つの台風が本土に上陸した。これらの台風は、日本列島を沿うように通過したため、日本各地の広い範囲で人的被害や住宅被害が発生した。

地震・噴火災害については、三宅島噴火は依然として火山ガスおよび泥流に対する警戒が必要とされ、島民が島外に避難しなければならない状態が続いている。また、3月の芸予地震(死傷者290人、住宅被害約3万5千棟)4月の静岡県中部を震源とする地震(負傷者8人、住宅被害約80棟)でも大きな被害が発生した。

火災は、防火対象物等の安全管理の不備による事故が目だった年であった。例えば、5月5日に千葉県四街道市の建設業付属寄宿舎において発生した火災は、11人の死者を出す惨事となり、建築確認申請等の未提出を指摘された。また、9月1日に発生した新宿区歌舞伎町ビル火災は、死者44人、負傷者3人が発生する大惨事となり、防火管理の不適切を指摘された。過去の火災事例を振り返ると、雑居ビルの火災としては、死者118人が発生した1972年の千日ビル火災に次ぐ死傷者を出したものとなった。30人以上の死者が発生した火災としては、1982年のホテル・ニュージャパン火災以来となった。

その他の災害として、9月に日本で最初の狂牛病感染の乳牛が発見され、それ以降狂牛病対応の不備が社会問題となった。

世界的には、9月11日のWTCテロ攻撃(ニューヨーク市が10月4日に公表した第一次推計によると、死者・行方不明者5,582人、倒壊建物7棟、財物損失US\$340億、人的損失US\$110億、当期~来期の経済損失US\$450億~600億)という世界を揺るがす大惨事がおこった。その他に、経済損害額の大きい災害としては、6月の米国・テキサス州の熱帯性暴風雨(数万棟の住宅浸水被害、10万台以上の自動車が浸水。経済損害US\$60億。保険損害US\$35億。死者25人)1月のインド・グジャラート州の地震(経済損害US\$45億。保険損害US\$1億。死者約14,000人)4月の米国・ミズーリ州の雹災(テニスボール大の雹により建物の屋根、自動車の被害。経済損害US\$25億。保険損害US\$19億。死者1人)2月の米国・ワシントン州の地震(経済損害US\$20億。保険損害US\$3億。死者1人)1月のエルサルバドルの地震(経済損害US\$15億。保険損害US\$3億。死者850人)9月の台湾の台風16号(経済損害US\$8億。保険損害US\$6億。死者93人。台北の地下鉄が数週間にわたり水没)等が発生し、いずれも巨大自然災害によるものであった。

ミュンヘン再保険会社によると、2001年の世界における巨大自然災害の数は、700件で長期間の平均である650件を上回ったものの前年の850件よりかなり少なかったが、巨大自然災害による死亡者数は25,000人(前年は10,000人)で、経済損害はUS\$360億(前年はUS\$300億)保険損害はUS\$115(前年はUS\$75億)といずれも前年を上回った。しかしながら、巨大自然災害による記録的な経済損害US\$1,000億を計上した1999年と比較すれば、2001年はおよそ1/3であり、巨大自然災害による損害の極端に多い年ではなかった。なお、巨大自然災害の内、暴風雨と洪水が件数で450件と2/3を占め、保険損害の91%を占めている。

ここでは、種々の災害、事故の中から一定の基準に基づき個別の事例を抽出し、2001年の年表としてまとめた。個別の災害、事件事例は、新聞報道、雑誌などから、下記の基準(海外は事例が多くなるので基準を大きくした)のいずれかに該当する事例を抽出することを原則とし、この他に2001年の特

徴と思われる事例を掲載した。したがって、掲載漏れがあること、その後の事実変化があることを始めにお断りしておく。

抽出基準		国内	海外
すべての事例	死者 負傷者	10名以上 30名以上 (食中毒のみ100名以上)	30名以上 100名以上
気象災害、地震・噴火、 火災・爆発事例	罹災棟数 罹災面積	10棟以上 1,000平方m以上	10棟以上 1,000平方m以上
自動車事故	罹災車両数	10台以上	10台以上

## 2. 2001年の災害事故事例

2001年災害事故事例は、国内事例と海外事例に分類し、事故種別および発生日順に掲載した。

掲載事故種別は、気象災害、地震・噴火、火災・爆発、自動車事故、鉄道事故、船舶事故、航空機事故、中毒、その他に区分し、国内事例104件、海外事例91件の合計195件を掲載している。

### (1) 国内事例

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
気象災害	1	27	関東甲信地方	関東甲信地方の降雪による死亡者は5人になり、都内では雪による事故の負傷者は、253人になった。高速道路は、長野道の全線で通行止めが続いた。羽田空港で除雪作業のため、約460便が欠航した。JRでは12線10区間で間引き運転を行った。
	2	16	石川県	美川町で、突風により倉庫全壊、民家の屋根瓦が飛ばされるなど家屋40棟、車3台に被害が出た。このほか、金沢市内で10棟、富来町内で2棟が突風による被害を受けた。
	3	4	島根県 大社町	ブドウ畑で竜巻発生。農家14戸分のビニールハウス延べ約1.5haが全半壊し、民家1棟の屋根が半分吹き飛ばされた。
	6	7	関東地方	雷を伴う激しい雨により、千葉や埼玉で床上・床下浸水32棟、道路冠水、道路陥没などの被害が発生した。首都圏で帰宅ラッシュ時間帯にタイヤに乱れが起きた。
	6	18	西日本	梅雨前線の影響で近畿、中国、四国、九州は大雨になった。各地で土砂崩れなど相次ぐ。山陽新幹線が一時運転を見合わせた。住宅の被害は、全・半壊12棟、一部損壊155棟、床上浸水142棟、床下浸水1,014棟。死者1人、負傷者16人。
	6	19	愛知県 一宮市、尾西市	一宮市から尾西市にかけての東西12km、幅100mほどの範囲で竜巻被害が発生した。住宅の屋根瓦が吹き飛んだり、ガラスがわれたりした被害は、約238棟になった。
	6	28	九州	熊本県を中心に九州の中・北部地方は梅雨前線による豪雨に見舞われた。鉄砲水で家屋が損壊し、住宅の被害は、全半壊3棟、一部損壊9棟、床上浸水13棟、床下浸水56棟。負傷者2人。
	6	29	北海道 北竜町、秩父別町	竜巻により、走行中の乗用車が空中に巻き上げられるなどで3人が重軽傷を負う。家屋・物置など16棟全壊、32棟半壊。約1,000戸停電。
	7	5	九州各県、秋田県、愛媛県	梅雨前線の影響で、雷を伴った激しい雨が断続的に降り、各地で浸水や土砂崩れが起きた。住宅の被害は、一部損壊3棟、床上浸水9棟、床下浸水170棟。行方不明1人。
	7	11	九州 北、中部	梅雨前線に伴う大雨に見舞われ、福岡県を中心に各地で被害が出た。住宅の被害は、一部損壊5棟、床上浸水69棟、床下浸水706棟。
	7	17	滋賀県	突風を伴った局地的な雷雨が起こった。東海道新幹線が一時運転を見合わせた。彦根市と米原、能登川、甲良、多賀の四町で282戸が床上・床下浸水した。負傷者4人。
	8	2	兵庫県 南東部	落雷の影響で兵庫県南東部7市1町の延べ約8万世帯が断続的に停電した。宝塚、三田両市内では一部の信号機が一時ストップ。JR福知山線宝塚、川西池田、北伊丹、塚口の各駅の信号機が赤のまま変わらなくなり、計104本が運休するなど約5万8千人に影響した。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
気象災害	8	21	近畿地方、四国地方、中部地方、関東地方	21日夜、台風11号（中心気圧970hPa、中心付近の最大風速30m）は紀伊半島に上陸し、22日午前、中型で並みの勢力を保ちながらいったん太平洋に抜け、12時頃、静岡県土肥町付近へ再上陸。勢力を弱めながら東京湾を抜け16時前に千葉市付近を通過。宮城県気仙沼市の南約50kmを時速約40kmで北北東に進んだ。そして23日8時過ぎ北海道日高地方に上陸し、その後、9時には、温帯低気圧に変わった。住宅の被害は、床上浸水84棟、床下浸水634棟。死者6人、負傷者32人。
	8	27	群馬県	群馬県中央部を中心に雷を伴った集中豪雨が発生した。伊香保町のホテル3階の大浴場に雨で押し流された土砂や木の根など2トンが流れ込み、湯船はほぼ埋まった状態になる。高崎、安中両市で床上浸水4棟、床下浸水35棟。負傷者2人。
	9	6	和歌山県、大阪府、徳島県、愛媛県、高知県、鹿児島県	四国南部に停滞した前線に沖縄県南部の熱帯低気圧から温かく湿った空気が流れ込み活動が活発化し、6日未明から激しい雨となる。家屋浸水、停電、断水など相次ぐ。住宅の被害は、全半壊14棟、一部損壊5棟、床上浸水568棟、床下浸水819棟。負傷者8人。
	9	7	沖縄県	台風16号は、7日午前、沖縄本島南部に上陸し、8日未明本島を再通過して東シナ海に入る。11日から13日未明にかけ、沖縄付近で迷走状態が続き、13日未明に久米島を通過した。暴風雨による住宅の被害は、全半壊96棟、一部損壊58棟、床上浸水702棟、床下浸水226棟。負傷者4人。
	9	9	中部、近畿、関東、東北地方	台風15号は、静岡県浜松市の南の海上をゆっくりと北上し、東日本各地は大雨となる。11日、鎌倉市付近に上陸し関東各地を風速25m以上の暴風域に巻き込んだ。東京湾では通常の潮位より144cm高い高潮が発生。その後、関東から東北の太平洋沿岸に向け北上し、北海道根室市沖で温帯低気圧に変わった。住宅の被害は、全半壊13棟、一部損壊149棟、床上浸水112棟、床下浸水726棟。死者・行方不明8人、負傷者48人。
	10	1	三重県南部	台風19号から変わった温帯低気圧の影響で局地的豪雨になった。御浜町、熊野市で観測史上最高の時間雨量を観測した。県内で126棟が床上・床下浸水した。また、御浜町、尾鷲市、鳥羽市などで約2,000戸が停電した。負傷者1人。
	10	4	北海道北見市	低気圧の影響で継続的に降雨があり、国道333号のルクシ峠付近（北見市から隣の佐呂間町に抜ける山間部）の道路脇の斜面で、がけ崩れ（土砂量約1万立方m）が発生した。乗用車1台が巻き込まれ、土砂の除去作業を続けているが、1ヶ月たっても開通工事などの予定はたっていない。死者2人。
	10	16	宮崎県、大分県	台湾付近に接近した台風21号の影響から前線が活発化し、宮崎県内全域と大分県の一部で大雨。宮崎県では床上浸水57棟、床下浸水190棟。大分県では床上浸水64棟、床下浸水280棟。
	12	30	秋田県	低気圧の影響で東北各地で暴風雪。秋田市で12月の観測史上最高の最大瞬間風速36.6mを記録。トタン屋根がはがれるなどの建物被害200件発生。秋田県内で電柱が折れたり、倒木で電線が切れるなどし沿岸部で約82,200戸（県内の約13%）停電、完全復旧に丸一日を要した。落雷でJR運休。
地震・噴火	3	24	中国、四国地方	安芸灘を震源とする深さ51km、M6.7の地震。震度は、広島県の河内町、大崎町、熊野町で6弱。広島県、愛媛県、山口県の広い範囲で5弱。広島県沿岸部の埋め立て地帯や三角州で液状化現象が多く発生。死者2人、負傷者288人。住宅の被害は、全壊49棟、半壊306棟、一部破損34,897棟。
	4	3	静岡県	静岡県中部を震源とする深さ33km、M5.1の地震。震度は、静岡市5強、島田市、岡部町、川根町5弱。住宅一部破損80棟。負傷者8人。
火災・爆発	1	1	三重県伊勢市	海産物加工会社の木造二階建て製品倉庫から出火、選別工場や製品倉庫など木造計3,000平方mを焼失した。死者1人。
	1	4	鹿児島県名瀬市	木造住宅密集地で火事があり、強風で延焼し木造住宅やアパートなど19棟が全焼した。焼失面積計約1,400平方m。死者1人。
	1	21	愛知県甚目寺町	寺院から出火、木造平屋建ての本堂、庫裏など約500平方mを全焼した。国の重要文化財「聖観音像」が焼けた。
	2	13	愛媛県新居浜市	木造2階建ての空き家から出火し同建物が全焼、近隣の民家にも燃え広がり、計7棟が全焼、ほか3棟の一部も焼け、延べ約1,600平方m焼く。
	2	24	三重県四日市	発泡スチロール製造会社の工場から出火、鉄骨平屋建て工場や事務所など4棟延べ2,900平方mを全焼し、製品の発泡スチロールや原料などを焼いた。
	3	4	石川県押水町	採卵養鶏業の養鶏場から出火し、鉄骨2階建て鶏舎4棟計約9,000平方m全焼し、ニワトリ24万羽焼け死ぬ。被害金額約7億円。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
火災・爆発	3	30	愛知県美和町	プラスチック加工会社の鉄骨平屋工場兼倉庫から出火、約1,000平方mを全焼した。プラスチック製品材料のポリエチレンやポリプロピレンなど約300トン燃える。
	4	6	愛知県名古屋市	東区と千種区で約一時間半の間に5件の連続不審火があり、幼稚園や倉庫、民家など計4棟約1,000平方mを全焼した。
	4	10	和歌山県和歌山市	染物工場から出火し、鉄骨平屋建て約1,000平方mを全焼し、隣接するアパートの外壁も焦がした。
	4	10	青森県三戸町	木材製材所作業場兼物置の軒下から出火、強風で近隣の住宅などにも広がり計6棟全焼、1棟半焼、計1,555平方mを焼いた。負傷者2人。
	4	10	秋田県男鹿市	寒風山南側斜面から出火、約150ha焼く。スギ約1万4百本焼けた。
	4	16	千葉県市原市	自動車解体場敷地内(3,000平方m)でアセチレンバーナーで車を解体中、火花が油に引火し積み上げられていた廃車約300台分と竹林約1,000平方m焼失した。
	4	16	静岡県清水町	アルミ缶再生工場でアルミ缶などを圧縮する作業中ガス爆発。鉄骨スレート葺き工場約1,000平方mを全焼し、周辺約50mにある建物15棟と車両25台の窓ガラスなどを破損した。現場一帯は、工場地帯。負傷者1人。
	5	5	千葉県四街道市	建築解体業の鉄骨プレハブ2階建自宅兼作業員宿舍約500平方mを全焼。増改築を繰り返した同建物には約40の部屋があり、出火当時42人が宿泊していたが、周囲を鉄管とトタンで囲まれ、鍵のかかった出入り口が1ヶ所しかなかった。死者11人。
	5	8	青森県弘前市	雑居ビル内の消費者金融の店舗に男が押し入ってガソリンをまき、金を要求したうえ、放火した。店内約100平方mを全焼し、従業員5人が死亡、4人が負傷した。
	5	19	滋賀県安土町	織山(きぬがさやま)で山林火災が発生し、約57haを焼失した。滋賀県でここ20年で最大の山火事。
	5	20	福岡県北九州市	商店街東側の店舗付近から出火、空き店舗3棟を含む12店舗を全半焼。残っていた火の粉が翌朝再び燃え上がりパン店を焼き、被災は13店舗延べ約1,000平方mに拡大した。負傷者3人。
	5	29	新潟県上越市	駅前の木造建物が密集する繁華街から出火し、スナックや住宅など8棟を全焼したほか、隣接する2棟の壁など延べ約1,800平方mを焼いた。
	6	9	青森県平舘村	車庫付近から出火し住家や車庫、ホタテ加工作業小屋など計10棟971平方mを全焼。消火のため出動した消防車同士が衝突し、消防士ら10人が負傷した。
	6	28	広島県呉市	商店街の木造二階建て共同店舗から出火、3棟計1,200平方mを全焼し、別の4棟の共同店舗の一部を焼いた。
	7	2	奈良県吉野町	国宝・金峯山寺二王門参道沿いの薬店から出火し、木造三階建ての同店と隣の土産物店計1,300平方mを全焼、倉庫の一部を焼いた。
	8	2	滋賀県草津市	運送会社の倉庫の天井付近から出火し、鉄骨スレート葺き平屋の倉庫3棟約6,300平方mを全焼し、約6時間半後に消えた。負傷者4人。
	8	3	秋田県八竜町	養鶏場から出火、木造二階建て事務所兼作業場と鶏舎6棟延べ約7,500平方mを全半焼した。死者1人。
	8	19	福島県郡山市	メッキ工場から出火し、鉄骨一部二階建て1万1千平方mのうち約7,120平方mを焼いた。
	8	23	大阪府泉大津市	倉庫業の鉄骨二階建て倉庫約5,000平方mを全焼した。
	8	24	兵庫県加古川市	細い路地に沿い住宅や店舗が密集している商店街から出火、店舗や倉庫など約10棟延べ約1,000平方mを焼いた。
9	1	東京都新宿区	歌舞伎町の耐火造地上4階、地下2階建て雑居ビル(建築面積83平方m)で、3階マージャン店から出火し、4階飲食店に延焼拡大し160平方mを焼失した。死者44人、負傷者3人。	
9	17	長野県松本市	木造二階建てアパートから出火し、同アパートと隣接するアパートや民家など6棟を全焼、4棟を半焼し、延べ約2,000平方mを焼いた。死者3人、負傷者3人。	
9	20	島根県出雲市	木材会社の作業場兼倉庫から出火し、約1,600平方mを全焼した。さらに隣接住宅など2棟約280平方mを全焼した。	
9	21	滋賀県愛東町	反物染色工場の生地倉庫から出火し、鉄骨平屋建て3,840平方mのうち約1,260平方mを焼き、倉庫内にあった反物3万反も焼いた。	
10	3	広島県広島市	石鹸製造工場から出火し、木造平屋建ての工場と倉庫計1,410平方mを全焼した。さらに隣接する住宅、アパート等計8棟に延焼した。	

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
火災・爆発	10	21	東京都世田谷区	大学の体操場で練習用ウレタンフォームマット付近から出火し、鉄筋コンクリート建て体育館約5,560平方mのうち、約1,300平方m焼く。小学生3人がマットと床との間にある数10cmのすき間に潜り込み、うち1人がつけたライターの火がマットに移り燃え広がった。
	10	26	福岡県北九州市	戦後間もなく建てられた棟続きの木造二階建て商店街から出火し、21店舗延べ1,000平方mを全焼した。死者2人。
	11	6	青森県岩木町	酒造工場に併設する住宅から出火、木造一部二階建て住宅と棟続きの木造酒造工場の計1,380平方mを全焼した。負傷者1人。
	11	7	埼玉県越谷市	軽量鉄骨モルタル三階建て住宅150平方mで、2階の台所のでんぷら油から出火し2、3階部分を焼いた。でんぷらを揚げ終えた廃油凝固剤入り油の入ったなべが加熱され、出火した可能性が高い。死者4人、負傷者7人。
	11	21	埼玉県狭山市	航空自衛隊の基地で、車両整備倉庫から出火し、木造平屋建て倉庫2棟約1,350平方mを全焼した。
	11	28	沖縄県平良市	産業廃棄物処分場から出火し、約5,000平方mのうち、古タイヤや廃材など約1,000平方mを焼いた。煙のため翌日の夕刻まで周辺住民約160人が避難した。
	12	23	山形県酒田市	木造2階建て住宅から出火、周辺に次々と燃え移り住宅7棟と農作業小屋など3棟の計10棟全焼(1,257平方m)6棟半焼し約5時間後に鎮火。現場は、海岸から約1km離れた住宅密集地で、強い浜風が吹いていた。死者1人、負傷者1人。
自動車事故	2	10	長野県塩尻市	長野道塩嶺トンネル内で、乗用車が左側の壁にぶつかり停車し、後続の乗用車、大型バスなどを含む10台の車両が多重衝突した。負傷者8人。
	2	18	富山県富山市	北陸自動車道上り線で中型バスが、大型バスに追突した。負傷者70人。
	3	1	山梨県双葉町	夜の中央道上り線で、トラック、トレーラー、乗用車計6台を巻き込んだ玉突き衝突事故があり、2人死亡、2人が負傷を負った。
	4	15	福岡県北九州市	国道3号で大型トレーラーの積荷が交差点の歩道橋に衝突し、歩道橋が壊れ道路に落下。積荷の掘削機械が対向車線に落下し乗用車2台に衝突した。負傷者3人。
	5	26	静岡県清水市	東名高速下り線で大型トラックの荷台から鉱石の粉末の入った袋約25個が落下、散乱。粉が舞い視界不良でトラックや乗用車など10台玉突き衝突。死者1人、負傷者8人。
	8	25	福島県大玉村	東北道下り線で大型トラックがワゴン車に追突。ワゴン車は追突されたあと左側ガードレールにぶつかり横転したまま追い越し車線で停止し、一家6人が車外に放り出され死傷。この事故で急停止した大型トラックにトラックが追突。さらに事故処理のため通行止めとなった上り線で渋滞停止していた乗用車にトラックが追突して7台玉突き事故発生。死者3人、負傷者12人。
	9	10	東京都江東区	首都高速7号線下り車線で、スリップした乗用車がガードレールに接触して車線をふさぎ、後続のトレーラーなど13台が次々に追突した。負傷者2人。
11	26	愛知県名古屋市	交差点で信号待ちの大型トラックにタンクローリーが追突した。ローリーのタンク前部が破損し、ガソリン約4kリットル(ドラム缶約20本分)流出した。片側2車線を通行止めにし化学消防車など18台が出動し回収作業を行った。消防署員3人がガソリンで軽いやけどを負う。	
鉄道事故	3	17	神奈川県横浜市	鶴見駅構内で東海道貨物線上り貨物列車が脱線した。車両が旅客線側に傾いたため東海道線が12時間ストップし、175本運休した。
	6	24	福井県勝山市	私鉄越前本線(単線)で上り普通電車と下り急行電車が正面衝突し、双方の乗員・乗客25人重軽傷を負う。国土交通省は、電鉄会社に事業改善命令を出した。
船舶事故	1	7	高知県室戸岬沖	パナマ船籍の貨物船(3,561トン)が遭難信号発信後、沈没した。死者9人。
	2	5	福岡県福岡沖	新車335台を積んだ自動車運搬船(1,573t)が浅瀬に乗り上げ沈没した。燃料用重油の一部が漏れる。
	4	10	高知県足摺岬沖	韓国・仁川から兵庫・家島に向かっていた韓国船籍貨物船(22,725t)が消息を絶つ。行方不明28人。
	6	29	静岡県下田市	爪木崎沖でパナマ船籍の貨物船と北九州市の貨物船が衝突し、北九州市の貨物船が転覆した。1人死亡、2人行方不明。
航空機事故	1	31	静岡県焼津市上空	民間航空会社のB747-400とDC10が異常接近した。B747が、衝突を回避しようと急降下し、機体が大きく揺れ乗客・乗務員が負傷した。負傷者42人、うち5人が腰骨を折るなどの重傷。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
航空機事故	5	19	三重県桑名市	共に訓練中の航空会社の2人乗りヘリコプターと4人乗り軽飛行機が空中衝突し、民家に墜落、破片が数100mにわたって飛散した。民家など2棟焼く。死者6人、負傷者1人。
中毒	1	19	沖縄県那覇市	航空自衛隊の隊員134人が、下痢や腹痛などの症状を訴えた。保健所は便からO-27とO-1が検出されたことから、食中毒の疑いもあるとして調査している。
	1	22	長野県真田町	旅館に宿泊していた高校生や教員190人が、吐き気や腹痛、下痢などの症状を訴えた。保健所は便などから小型球形ウイルスを検出し、同旅館の食事が原因と断定した。
	2	22	滋賀県富郷町	幼稚園や小学校で園児・児童ら272人がおう吐や下痢などを訴えた。県は便から小型球形ウイルス(SRSV)を検出し、給食による食中毒と断定した。
	3	25	首都圏	病原性大腸菌O-157に109人が感染し食中毒症状訴える。内45人はハム製造会社の栃木工場製造の牛肉製品が原因と判明した。同社は、牛たたき、ローストビーフ約2.5トン回収した。
	4	25	埼玉県所沢市	病院とこれに併設の老人保健施設で、入院患者と入所者計153人が下痢などの食中毒症状を訴えた。県は患者の便からウェルシュ菌を検出し、給食による食中毒と断定した。
	4	27	石川県金沢市	給食に出た牛乳を飲んだ市内の小・中学生384人が腹痛や吐き気など訴えた。乳業会社は、乳製品を回収した。
	6	9	群馬県前橋市	結婚式場で開催された結婚披露宴の出席者104人が、下痢や発熱、おう吐などの食中毒症状を訴えた。県は食中毒と断定し、調理場を三日間、営業停止処分とした。
	6	10	山口県新南陽市	化学工場で従来の配管に新しい配管をつなぐ作業中、旧管内のベンゼンに溶けていたホスゲンが気化し漏洩した。建設会社作業員ら51人がのどの痛み訴える。
	6	22	宮城県志津川町	小中学校5校で、児童・生徒187人と職員10人が下痢、腹痛などの食中毒症状を訴えた。県は町立学校給食センターで作った給食が原因と断定、3日間の業務停止処分とした。
	7	24	長野県茅野市	温泉旅館に宿泊した東京都内の中学校生徒ら181人が下痢や腹痛などの食中毒症状を訴えた。県は、病原性大腸菌O-169による集団食中毒と断定し、旅館の調理部門を4日間の営業停止とした。
	11	22	大阪府四条畷市	小学校の校庭で、隣接する金網製造工場から漏れた塩化水素ガスを吸った児童が、のどの痛みなどを訴え、32人が病院で手当てを受けた。
	12	1	熊本県熊本市	保育園と幼稚園の園児と保護者ら313人が、もちつき大会のもちを食べた後、次々と吐き気を訴え、12の医療機関に運ばれた。いずれも症状はおう吐だけで、命に別条はない。市は、あんこ入りのもち等からセレウス菌を検出したと発表した。
その他・物的災害	6	12	新潟県柏崎市	北陸道柏崎ICでタンクローリーが出口道路のガードレールを破り2m下に転落し、運転手死亡。積荷の軽油とガソリン計2万リットルのうち1万6千リットル流出。周辺住宅地域では、一時火の使用をストップした。
	7	6	茨城県高萩市	産業廃棄物運搬用大型ダンプカーが誤って国道461号わきの花貫川に転落。積荷の重油の燃えかすが川に流出、8.5km離れた花貫浄水場まで達し、約9,000世帯が27時間にわたり断水。
	8	9	全国	航空会社の予約、発券などを制御しているシステムがダウンし、関連会社を含め国際線の発券・搭乗手続きや国内線発券業務が全国でストップした。ほぼすべての予約・発券業務が滞り、全国・全世界規模で影響。お盆の出国ラッシュで当日の予約率は90%を超え、成田空港だけで約1万人の足に影響。
	9	10	千葉県白井市	農水省は、家畜伝染病で死亡率の高い狂牛病に千葉の酪農家で飼育されていた乳牛1頭が国内で初めて感染したと発表した。11月21日に北海道で2頭目の感染牛が、また、12月2日に群馬県で3頭目の感染牛が発見された。感染源・感染ルートは確定されていない。10月18日、食肉用牛の全頭検査がスタートした。
	11	12	岐阜県神岡町	宇宙線研究所の宇宙素粒子観測装置「スーパーカミオカンデ」で、数百本の光センサーを交換した後、水の再注入中にセンサーの大量破損事故が発生した。被害額十数億円。
その他・人的災害	1	6	宮城県仙台市	県警は、クリニックの元准看護師が患者に筋弛緩剤を混ぜた点滴を行った事件で、殺人罪1件、殺人未遂罪4件の容疑で元准看護師を逮捕した。
	1	25	北海道札幌市	小学校の児童ら153人が、吐き気や腹痛などの症状を訴え学校を欠席したため、同日午後から学校閉鎖とした。保健所は、症状などからインフルエンザや食中毒の可能性は低く、ウイルス性胃腸炎の可能性があると調査している。
	1	26	東京都新宿区	JR新大久保駅で酒に酔った男性がホームから転落し、助けようと線路に降りた男性2人の計3人が電車にはねられ死亡した。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
その他・人的災害	1	29	新潟県 分水町	4つの小中学校の児童、生徒374人が腹痛や吐き気、発熱、下痢などの症状を訴えた。県は食中毒とは考えられないと調査結果を公表した。発症原因は特定できなかったが、感染性胃腸炎が関連した可能性が高いと発表した。
	3	8	福岡県 久留米市	高校に通う生徒1人が結核を発症し、同級生や教師ら計113人が結核に集団感染した。発症した生徒は、病院に入院した。113人は発症していないが、抗結核薬を6ヶ月間投薬する措置が取られた。
	6	8	大阪府 池田市	小学校に、包丁を持った男が乱入し、児童や教諭を次々に殺傷した。死者は児童8人、重軽傷者は児童13人と教諭2人の計15人。犯人は逮捕された。
	7	5	神奈川県 横浜市	市立小学校で、放課後に学校を遊び場として提供する教育事業の運営を手伝っていた人が結核を発病し、同校の児童、卒業生ら計46人が結核菌に集団感染した。
	7	21	兵庫県 明石市	JR朝霧駅から大蔵海岸につながる歩道橋（全長103m・幅6m）上で、花火大会（人出約13万人）の見物客ら5,000～6,000人が滞留して押合いとなり、歩道橋南端から約5～10m付近で将棋倒し発生。死者11人、負傷者185人。
	7	24	三重県、熊本 県、関東	この夏一番の猛暑となった24日、埼玉、三重、熊本の三県で、3人が熱中症とみられる症状のため死亡した。また、東京都内で3人が重体となるなど、熱中症の重症者は関東を中心に240人を超えた。
	9	13	石川県 金沢市	小、中学校16校で同市の牛乳メーカー製造の牛乳を飲んだ児童や生徒約500人が異臭などの異常を感じ、うち約100人が腹痛やどの痛みなど体の異常を訴えた。8人は病院で手当を受けたが、いずれも症状は軽い。

(2) 海外事例

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
気象災害	1	20	インドネシア 北スラウェシ州	サンギヘ諸島で、大雨による地滑りが相次いで発生し、34人が死亡、2人が行方不明となった。
	1	27	中国 内モンゴル自治区	年末からの40年ぶりといわれる厳しい寒波の被害が深刻化している。これまでに39人が死亡、22万頭の家畜が寒さと飢えて死んだ。被災者は160万人に上る。
	2	11	インドネシア ジャワ島	西ジャワ州で、豪雨が続き洪水や地滑りが発生し、94人が死亡した。東ジャワ州でも洪水により住宅数千棟と数百haの水田が浸水した。
	2	24	米国 ミシシッピ州、アーカンソー州	竜巻が発生し、ミシシッピ州で約300棟が全半壊し、7人が死亡した。アーカンソー州でも1人が死亡した。死者8人、負傷者30人。
	2	26	モザンビーク	1月下旬から断続的に降り続けている豪雨の影響で、北部を流れるザンベジ川など主な河川が次々に氾濫した。41人が死亡、8万人が家を失った。
	3	6	ウクライナ、ハンガリー、ルーマニア	雪解けと大雨でハンガリー東部のウクライナ国境でティサ川が氾濫し、付近の数千の民家が浸水した。下流のルーマニアでも被害が発生し、3ヶ国で計約3万人の住民が家を失った。死者7人。
	4	6	米国 ミズーリ州	6日から12日にかけての暴風雨によりカンザス・シティにおいて、テニスボールほどの大きさの雷が降り、多数の建物の屋根や自動車が被害を蒙った。経済損害は、US\$25億。死者1人。
	4	24	米国	豪雨によりミシシッピ川が氾濫し、西部4州洪水。アイオワ州ダベンポートなど広い範囲で住宅が被害を蒙り、これまでで1,100世帯が浸水した。
	5	1	中国 四川省	降り続いた雨で地盤が緩み、大規模な土砂崩れが発生。9階建てのアパート1棟が倒壊し土石に埋まる。死者・行方不明者65人。
	5	20	ロシア シベリア	厚い氷塊がレナ川を覆い雪解け水の流れを阻み、大規模な洪水が発生した。上流のレンスク市はほぼ水没し住民7,000人が避難、下流のヤクーツク市も水没する恐れがあり、約4,000人が避難した。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
気象災害	5	23	韓国、北朝鮮	朝鮮半島で、90年ぶりとなる大干ばつが続き、農産物などに深刻な被害を与えている。韓国気象庁によると、3月1日からの降水量は平年の2割以下のところが多く、米どころのチョロン周辺の水田が干上がり、田植えができなくなった。また、北朝鮮でもピョンヤンにある共同農場でジャガイモや麦などの農作物に深刻な被害がでている。
	6	5	米国 テキサス州	5日から17日にかけて熱帯性暴風雨により降雨が続き、数万棟の住宅が浸水すると共に、10万台以上の自動車が浸水した。経済損害は、US\$60億。死者25人。
	6	12	エクアドル	東部を中心に1週間にわたって豪雨が続き、各地で土砂崩れや川の氾濫が発生した。山間部では、土砂崩れで山小屋に避難していた人々を別の土砂崩れが襲い、30人以上が死亡・行方不明となった。
	7	1	ロシア モスクワ	100年ぶりといわれる暑さで連日30度を超え、涼を求める人の水死が激増した。水死者240人の大部分が飲酒後に川や貯水池で泳いでいた。
	7	4	フィリピン 北部、台湾、 中国南部	超大型台風「ユートル」(台風4号)が直撃し、フィリピンと台湾であわせて数百の家屋が倒壊した。香港では、交通機関が不通となり、公共機関、株式市場、金融機関が休業した。ルソン島では死者112人、負傷者121人。広東省では死者23人。
	7	14	韓国 ソウル市、京畿道	記録的な集中豪雨があった。ソウルなどで降水量300mmを超え、けが崩れによる家屋の倒壊や川の氾濫が相次ぐ。床上浸水3万4千世帯。死者45人、行方不明9人。
	7	16	中国 広西チワン族自治区	スズ鉱山坑内に大量の水が流れ込む事故が発生した。約70人が死亡し、約130人が坑内に閉じ込められ、救出は困難である。
	7	23	パキスタン	モンスーンに伴う記録的豪雨により、都市では冠水や停電、電話の不通などが起き、北西部の山間の村では鉄砲水が発生した。国内各地で洪水や地すべりにより、200人以上が死亡した。
	7	30	台湾 中部以北	台風8号が直撃し、豪雨により土砂崩れや河川の氾濫が相次ぐ。山間部では住民孤立。都市では、証券取引所休場、交通混乱などが起きた。土地家屋や農産物などへの被害も大きく、経済的損失は約160億円相当。死者・行方不明者208人、負傷者34人。
	7	31	インドネシア ニアス島	大雨による洪水と土砂崩れが起きる。山間部の三つの村に被害が集中し、死者・行方不明163人。
	8	5	米国 北東部	米中西部やその西に位置する大平原地帯で熱波が観測されていたが、北東部に拡大し、各地で観測史上最高の気温が記録された。今回の熱波は、高い湿度も伴っているため不快指数も激しく上昇しているのが特徴。ニューヨーク電力管理公社(NYISO)は、エネルギー緊急事態を宣言し、主要企業・ビルでエレベーターの一部停止やエアコンの設定温度変更などの節電措置を取っている。熱中症による死者20人以上。
	8	10	イラン	カスピ海沿岸部を襲った集中豪雨により洪水が発生。約1,500棟の家屋が破壊し、橋が流され住民約800人が孤立。ゴレスタン州では過去200年で最悪の洪水。死者226人、行方不明者284人。
	8	11	タイ 北部、東北部	台風による豪雨により地滑り発生し、チェンマイやスコータイなどタイ北部や東北部の広い範囲で家屋流失、道路の寸断などの被害が相次ぐ。死者・行方不明者は、120人以上。
	9	16	台湾	台風16号が、台湾に上陸し2日間にわたって停滞したため各地で記録的豪雨に見舞われた。台北では、一部の地下鉄の構内に濁流が流れ込み、線路、ホームはもとより中央制御室まで浸水した。死者79人、行方不明20人、負傷者208人。
	11	9	フィリピン	大型の台風23号が通過し、ミンダナオ島の北にあるカミギン島を中心に全土で約1,700棟の家屋全半壊した。死者・行方不明者119人、負傷者158人。
11	9	アルジェリア	記録的な豪雨に見舞われ、大規模な水害や地すべりが発生した。古い建物等多数が崩壊し、4,000世帯以上が被害を受けた。死者・行方不明者722人。	
11	22	コロンビア カルダス州	露天掘りの金鉱山で数日間続いた大雨のため地盤が緩み大規模な土砂崩れが発生した。政府が土砂崩れの危険があるとして閉鎖を命じていたが、違法操業が続いていた。死者・行方不明68人、負傷者30人。	
12	23	ブラジル リオデジャネイロ州	豪雨により、600人以上が家を失う。死者45人、行方不明者48人。	
地震・噴火	1	13	エルサルバドル	サンサルバドル南東約105kmの太平洋を震源とするM7.6の地震。大規模な土砂崩れにより、病院など倒壊。家屋を失った人は、エルサルバドルの全土で4万5千人。死者403人、行方不明者1,200人。



事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
地震・噴火	1	26	インド西部	グジャラート州フジの北東20kmを震源とする深さ10km、M7.7の地震。グジャラート州で、約26万9千戸の家屋が倒壊し多数の人が下敷きになる。綿織物、宝石加工産業の損失は、150億円/日に上り、工場操業まで数ヶ月かかるとされる。グジャラート州を中心に死者16,487人、負傷者146,000人。
	2	10	インドネシア ジャワ島	1月初めから続いていたムラピ山の火山活動が、一段と活発になり、溶岩が流出すると共に大規模な火砕流が発生した。噴火周囲6km以上が溶岩や火山灰に覆われ、ふもと住民約1万2千人が避難した。
	2	13	エルサルバドル	サンサルバドル南約100kmの太平洋を震源とする深さ約30km、M6.6の地震。損壊家屋15,440棟、死者274人、負傷者2,432人。
	2	23	中国 四川省	甘孜チベット族自治州雅江県で、M6.0の地震が発生した。建物が多数倒壊、ダムに大きな亀裂が入るなどの被害が出ており、被災者は約2万人。死者3人、負傷者10人。
	2	28	米国 ワシントン州	オリンピア北東を震源とする深さ約52km、M6.8の地震。シアトル市の建物被害は、立ち入り禁止建物29件、通常使用禁止建物480件で、橋や道路も破損した。シアトル空港が閉鎖され、停電や携帯電話の不通も起きた。経済損害は、US\$20億。死者1人、負傷者275人。
	4	12	中国 雲南省	M5.9の地震。ミャンマー国境山間部で約4万2千戸被災。死者7人、負傷者190人。
	5	24	中国 雲南省、四川省	省境付近でM5.8の地震。住宅185棟大破。牛600頭以上行方不明。死者2人、負傷者605人。
	6	23	ペルー	アレキパ州オコニャ沖を震源とするM8.4の地震。南部地域で大きな揺れ。約20分後リゾート地カマナに高さ4m以上の津波が3回押し寄せ、住宅が地震と津波で倒壊。M5クラスの強い余震続発。倒壊家屋1万1千戸、被害住宅5万3千戸。死者行方不明者145人、負傷者1,386人。
	6	24	フィリピン ルソン島	マヨン火山(2,462m)噴火。火砕流が標高500mまで達したため住民1万人以上避難。
	10	27	中国 雲南省	永勝県でM6.0の地震。家屋約3,400戸倒壊。負傷者134人。
火災・爆発	1	1	オランダ フォレンジム	若者ら約700人が集まって新年を祝っていたカフェで火災が発生した。死者9人、負傷者200人。
	1	3	米国 カリフォルニア州	サンディエゴ近郊で自動車からのタバコの投げ捨てを原因とする大規模林野火災が発生した。住宅やモービルホーム9棟焼損。森林10ha焼失。負傷者3人。
	3	6	中国 江西省	2階建て小学校校舎で爆発、4教室崩れ落ちる。死者42人、負傷者27人。
	3	15	ブラジル リオデジャネイロ	カンポス沖の175人が働く海底油田掘削施設(リグ)で少なくとも3回爆発が起き炎上し、沈没した。施設の高さは、40階建てビルに相当し、世界最大級といわれる。死者・行方不明11人。
	3	26	ケニア	ナイロビ南東約40kmにある町で、中学校の寄宿舎から出火。死者58人、負傷者28人。
	4	6	中国 陝西省	炭鉱でガス爆発が起き、38人死亡、16人が負傷した。
	4	21	中国 陝西省	炭鉱で大規模なガス爆発事故。死者・行方不明48人。
	5	8	中国 黒竜江省	54人が作業していた炭鉱で爆発、火災。死者9人、行方不明45人。
	5	12	台湾 汐止市	ハイテク企業本社が多数入居の26階建オフィスビルのA棟3階から出火し、最上階まで燃え、隣のB・C棟の高層階にも燃え移り42時間後鎮火した。
	5	19	イエメン アルバイダ	武器が取引されている市場内の火薬保管部屋で爆発が発生した。死者32人、負傷者約50人。
	7	12	インドネシア	インドネシアの森林火災による煙霧(スモッグ)が国境を越えてシンガポール、マレーシア、タイなどに広がっている。健康被害や観光客の減少、視界不良による航空便のキャンセルなど大きな影響が出ている。
	7	16	中国 陝西省	爆薬製造工場経営者が取り締まりを受け非合法の工場を閉鎖し、残った爆薬を兄弟の家に移し保管中爆発。死者41人、行方不明10人以上、負傷者85人。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
火災・爆発	7	22	中国 江蘇省	違法操業で地元政府から閉鎖命令を受けたが無断操業中の炭鉱で爆発が起こった。106人が地下の坑内に閉じ込められる。死者16人、行方不明77人。
	8	18	フィリピン マニラ	鉄筋5階一部6階建てホテルで火災が発生し、火は約3時間半後に消し止められたが、宿泊客ら少なくとも70人が煙に巻かれるなどして死亡した。負傷者40人。同ホテルは、各部屋の窓に侵入者を防ぐため鉄格子が付けられていたため、消防隊の救出活動が難航した。
	8	19	ウクライナ ドネツク州	炭鉱でメタンガスが爆発し火災になった。事故当時、約970人が採炭作業をしており、死者36人、行方不明14人、負傷者36人。
	9	21	フランス トゥールーズ	化学工場で、肥料の原料になる硝酸アンモニウム300トン貯蔵しているサイロが爆発した。爆発点には直径50m、深さ15mの穴が開き、アンモニアが発生した。工場2棟が全壊し、その屋根や壁の破片が周囲400mの範囲に飛散し、近くの火薬工場や大手家電店が半壊した。死者29人、負傷者2,442人。
	10	25	タイ ナコンラチャシマ - 県	陸軍弾薬貯蔵施設で爆発が起こった。火薬や地雷などを貯蔵した45棟の倉庫のうち10数棟が吹き飛び、7時間以上燃え続けた。行方不明20人、負傷者60人以上。
	11	24	ブラジル ベロホリゾンテ	収容能力の2倍の1,500人の客で混み合うディスコで、余興の室内花火が滝のように木製ステージに落ちて出火した。火は壁の中の断熱材の発泡プラスチックに燃え移り急速にホール全体に広がり、客らがパニックになり負傷者が増えた。死者6人、負傷者340人。
	11	26	カンボジア プノンペン	内戦時代に地方に逃げた人々が戻って不法に住んでいるスラムで2日続けて大火が発生した。2,800戸が全焼し、1万人以上が焼け出された。死者1人。
	12	25	オーストラリア ニューサウスウェールズ州	各地で山火事が起こった。百数十棟の家屋が焼失し、千人を超える住民が避難した。この火事の影響で、同州の約5万世帯が停電しているほか、主要高速道路や鉄道などが不通になっている。
	12	29	ペルー リマ	繁華街にあるショッピングセンターで火災が発生してビル3棟や家屋2棟などが炎上した。露店の花火店で店員が客に見せるために新型の輸入花火に点火したところ爆発、他の露店や小売店が多数入居するビル内部に燃え移る。死者276人、行方不明者20人、負傷者約200人。避難者は狭い通路で将棋倒しになり、死者・負傷者が増えた。
	12	30	中国 江西省	花火工場倉庫で花火梱包中に爆発、火災が起き、工場十数棟も誘爆で全壊した。死者9人、負傷者46人。
自動車事故	10	24	スイス	アルプス山脈を貫くゴタール・トンネル(17km・世界第2位)内でトラック2台が正面衝突し炎上した。積荷の古タイヤが燃えるなどトンネル内に火と煙が立ち込め、救出作業が難航している。他にトラック後方を走行していた車両が、玉突き衝突を起こすなど約100台が火事に巻き込まれる。死者9人、行方不明者約80人、負傷者6人。
鉄道事故	6	22	インド ケララ州	マンガロール発チェンナイ行き急行列車が橋を通過する際に脱線し、3両が下を流れるカダルンディ川に転落。死者57人、負傷者250人。
	9	2	インドネシア 西ジャワ州	ジャカルタから観光地ジョクジャカルタへ向かっていた旅客列車が赤信号を無視して時速約50kmでチルボン市の駅に進入し、機関車と正面衝突した。死者42人、負傷者64人。
	12	25	インドネシア ブルブス	ジョクジャカルタ発ジャカルタ行き下り旅客列車と、対向するジャカルタ発の旅客列車同士が衝突した。死者約30人、負傷者多数。
船舶事故	1	15	韓国 巨済島付近	韓国領海内を航行中のパナマ船籍タンカー(5,544t)で、火災が発生し沈没した。乗組員16人のうち、3人死亡し6人行方不明。燃料のC重油が沈没位置から漂流し、一部が長崎島の佐須奈湾に漂流した。
	1	16	エクアドル ガラパゴス諸島	サンクリストバル島沖で、軽油と重油を同諸島に輸送中の小型タンカーが座礁し、石油約64万リットルが流出した。同諸島固有の生物が被害を受け、同政府は非常事態を宣言した。
	2	9	米国 ハワイ	オアフ島沖で、日本の水産高校の練習船が米海軍の原子力潜水艦と衝突し、瞬く間に沈没した。行方不明9人、負傷者12人。
	4	23	太平洋	陸上自衛隊の装備品などを積んだパナマ船籍貨物船の船体に穴があき浸水・沈没した。自衛隊の資材の合計額は、30億円。
	10	28	中国 渤海湾	遼寧省旅順から山東省竜口に向け航海していた中国のフェリーで火災、爆発し、沈没した。船には液化天然ガス(LNG)運搬用の車両6台とトラック3台を積んでいた。死者8人、行方不明19人。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
船舶事故	10	29	中国 渤海湾	大連の旅順口から山東省竜口市に向っていた山東省の海運会社の貨物船が突然爆発、火災となり沈没した。死者・行方不明27人。
航空機事故	1	14	モンゴル オブス県	寒波被害調査のためモンゴル西部に飛び立った大型ヘリコプターがロシア国境近くで墜落し、炎上した。寒波取材中の記者ら、死者9人、負傷者17人。
	3	3	タイ バンコク	空港で駐機中の国内便チェンマイ行き B737型機が炎上し、機体を全焼した。点検中の作業員1人死亡、7人負傷。タイ当局は、爆発物による爆発と断定した。
	4	1	南シナ海	南シナ海の公海上空で、米軍の電子偵察機(乗員24人)と中国軍のジェット戦闘機1機が空中接触した。米機は中国南部の海南島に緊急着陸したが、中国機は墜落し、乗員は行方不明になっている。
	7	4	ロシア 東シベリア	エカテリンブルクからウラジオストックに向っていた国内便のツポレフ154型旅客機が中継地イルクーツクに着陸態勢に入った後墜落した。乗客・乗員の計145人が全員死亡。
	9	11	米国 バージニア州	ワシントン発ロサンゼルス行き民間航空機B757(乗員乗客64人)がハイジャックされ国防総省の五角形のビル(ペンタゴンビル)に突入し、火災が発生した。旅客機が突入した西側は12日昼まで煙をあげ続けた。死者・行方不明者188人。
	9	11	米国 ニューヨーク州	ハイジャックされた民間航空機B767(乗客81人・乗員11人)が、World Trade Centerのツインタワーの北タワー(110階建・417m)96階付近に突入した。その後、ハイジャックされた民間航空機B767(乗客56人乗員9人)が南タワー(110階建・415m)80階付近に突入した。両タワーとも火災発生し、その後崩壊した。約500m四方に瓦礫飛散。両タワー崩壊による衝撃・振動、爆風、火災の熱などで周囲十数棟被害。死者2,263人、行方不明者1,383人、負傷者約6,000人。
	9	11	米国 ペンシルベニア州	ニューアーク発サンフランシスコ行き民間航空機B757(乗員乗客45人)がハイジャックされピッツバーグ近郊の山林に墜落した。死者・行方不明者45人。
	10	4	黒海	ロシア民間航空会社のチャーター便ツポレフ154型旅客機(78人乗り)が突然爆発し黒海に墜落した。実弾軍事演習中のウクライナ軍がミサイルを誤射した。死者78人。
	10	8	イタリア ミラノ	リナテ空港でコペンハーゲン行き民間航空会社のMD87旅客機(乗員6人・乗客104人)が離陸滑走中に、滑走路に入ってきたドイツ人所有の小型機(4人乗り)と衝突、さらに空港内の倉庫に激突し爆発・炎上した。死者118人、負傷者2人。
	11	12	米国 ニューヨーク州	ニューヨーク発ドミニカ行き民間航空機エアバスA300(乗客乗員260人)がケネディ国際空港を離陸してから2分後に住宅密集地に墜落。直撃を受けた家屋11棟が炎上。死者265人、負傷者40人。
中毒	9	9	エストニア ピャルヌ	ウォッカとして売られたメチルアルコール入りの密造酒を飲んだ市民多数が中毒で倒れる。死者60人、負傷者49人。
その他・物的災害	1	17	米国 カリフォルニア州	規制緩和によって電力会社の経営が悪化し、電力不足が深刻化した。シリコンバレーなど最大180万世帯の家庭を対象に1~2時間/日の計画停電を行う予定が事業所も巻き込まれる。工場が一部操業停止になったり、信号やエレベーターが止まるなど、市民生活や経済活動への影響が深刻化してきた。
	2	9	中国 上海沖	中国、台湾と米国を結ぶ海底ケーブルが断線され、台湾のインターネット接続業者に加入している500万人は、一時海外サイトへの接続ができなくなった。一方、中国国内では、北米向けネット検索ができなくなった。
	3	4	ポルトガル ポルト郊外	ドウロ川にかかる橋が崩壊し、通りかかった67人乗り観光バス1台と乗用車2台が巻き込まれ川に転落した。死者70人。
	5	24	イスラエル エルサレム	ビル4階のホールで行われていた結婚パーティーで700人以上がダンスをしていたところ床が1階まで抜け落ちる。死者・行方不明50人、負傷者350人。
	7	17	中国 上海市	造船所で600トンの巨大クレーン据え付け中、桁を支えるケーブルが緩み支柱と共に倒壊。死者36人、負傷者3人。
	9	18	世界各地	コンピュータウイルスW32/Nimdaが、マイクロソフト社のInternet Explorer、Outlook / Outlook Expressを使用しているパソコンと、同社のInternet Information Service 4、または5を使用しているwebサーバーに感染。ウイルス対策ソフト大手トレンドマイクロへの感染報告は世界中で170万件以上。日本の情報処理振興事業協会への感染報告は323件。届け出の中には、HPを閲覧するだけで感染したという報告があった。
その他・人的災害	3	31	パキスタン	寺院で開門の際に信者数百人が殺到し、将棋倒しになる。死者30人、負傷者100人。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
その他・ 人的災害	4	11	南アフリカ	スタジアムでサッカーの試合を観戦しようとした場外のファンがゲートを破りスタジアム内になだれ込み、観客が将棋倒し。死者43人、負傷者約100人。
	10	4	米国	10月4日に炭そ菌入りの郵便物が各地に送られる事件が発生した。それから約1ヶ月で死者5人を含む感染者17人を出した事件は拡大し続けている。感染源不明の肺炭そ病患者も発生し、見えない恐怖への市民の不安は募る。FBIと米郵政公社は事件解決に直結する情報提供に対し、最高100万ドルの報奨金を出す。

(研究部)